



みんなで減らそう

食品ロス

「食品ロス」とは、本来食べられるはずの食品が捨てられてしまうことをいいます。食品ロスを削減するためには、私たち一人ひとりの心がけが大切です。身近にできることから、食品ロス削減に取り組んでいきましょう。

問合せ 資源循環推進課 ☎ 内線 569

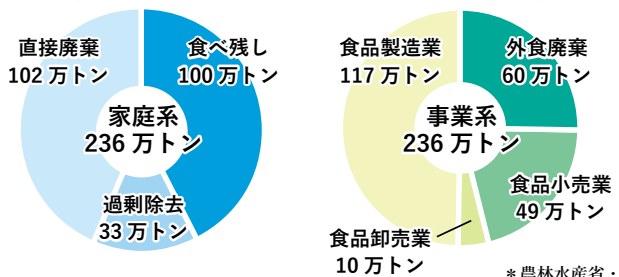
毎日、おにぎり1億個以上が捨てられている？

日本では、令和4年度に472万トン（家庭系236万トン・事業系236万トン）もの食品ロスが発生しています。

国民1人当たりで換算すると、毎日おにぎり1個分、日本全体で1億個以上分の食品が捨てられていることになります。



令和4年度の食品ロス発生量*



*農林水産省・環境省「令和4年度推計」より

みんなで減らそう、食品ロス

食品ロスを減らすためには、食品を提供する事業者だけでなく、消費者である一人ひとりが意識し、減量に取り組むことが大切です。市HP（下記QR）などを参考にしながら、みんなで身近にできることから取り組んでいきましょう。



今日から実践！身近にできる主な取組



食材は必要な分だけ購入して余らせない



調理方法を工夫して無駄なく食材を使い切る



外食の際は食べきれぬ量を注文し残さない

募集 ひたち食品ロス削減パートナー制度協力店

協力店に登録すると、登録証とオリジナルステッカーが配布され、食品ロス削減への取組が市HPやInstagramでPRされます。

対象 市内で営業している飲食店、宿泊施設など

要件 次のうち1つ以上を実践する店舗

- お客さんへの普及啓発活動
- メニューの工夫
- 残した料理の持ち帰り
- 店舗独自の食品ロス削減の取組など

申し込み 右記QRから申し込むか、登録申請書を直接か郵送、メール、FAXで、資源循環推進課へ。



市HP



募集 食品ロス削減に関する標語

食品ロス削減月間の取組の一環として、食品ロスに関する標語を募集します。優秀作品は市HPで公表するほか、市の広報・啓発での活用や、市指定ごみ処理袋に掲載します。

申し込み 10月31日(木) (必着) までに下記QRから申し込むか、郵便番号、住所、氏名、年齢、電話番号、応募作品（1人3点まで）を郵送かメール、FAXで、資源循環推進課へ



市HP



市内事業者の
皆さまへ

事業者のCO₂排出量削減を応援

脱炭素経営支援システムを導入しよう

市内事業者の脱炭素経営に向けた取組を促進するため、「脱炭素経営支援システム」の導入を支援しています。システムの利用事業者を募集していますので、ご興味のある方のご連絡をお待ちしています。




問合せ 商工振興課 ☎ 内線 775

脱炭素経営支援システムとは？

3ステップで事業者の脱炭素経営を支援するシステムです。システム導入からロードマップの策定まで、市と日立地区産業支援センターがサポートします。



利用料は**無料**です！

STEP ①	STEP ②	STEP ③
エネルギー使用量の 入力  Excel で簡単操作！	CO ₂ 排出量の 集計  グラフで見える化！	ロードマップの 策定  削減目標を設定！

計画的な脱炭素経営に
取り組もう！！

システム導入のメリット

- ☑ 企業イメージの向上につながる
- ☑ **ゼロカーボンアクション表彰**の候補者に

事業所の省エネ化など、ゼロカーボンシティに貢献する事業者の取組を表彰する「日立市ゼロカーボンアクション表彰」の候補者になります。

*表彰について、詳しくは市HPをご覧ください。



優れた取組には
10万円を交付



- ☑ **脱炭素設備導入促進事業補助金**を活用できる

設備の導入・更新、運用改善の経費を補助します。
(今年度の受付は終了しました)

*補助金について、詳しくは市HPをご覧ください。



補助率 1/2
最大 **100万円**



利用事業者の声

- ☑ 現在の状況を把握することができた
- ☑ 視覚化することで効果のあるものとなないものが明確になった
- ☑ 社員が自分事としてとらえるきっかけになった
- ☑ 今後やるべきことが分かりやすくなった



早速システムを
導入しよう

申し込みは
こちら▶



申し込みフォーム

もっと詳しく
知りたい方へ▶



市HP



日立地区産業支援
センター HP